

随意契約結果及び契約の内容

| | |
|------------------------------|--|
| 業 務 の 名 称 | 東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務 |
| 業 務 概 要 | 本業務は、東北地方整備局管内の港湾整備において、効率的で安全な潜水作業の実現方策について検討するものである。 |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長 渡邊 茂 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 |
| 契 約 年 月 日 | 令和6年10月11日 |
| 契 約 業 者 名 | 東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体 代表者 一般財団法人沿岸技術研究センター |
| 契 約 業 者 の 住 所 | 東京都港区西新橋1-14-2 |
| 契 約 金 額 | 17,930,000 円(税込) |
| 予 定 価 格 | 17,985,000 円(税込) |
| 随意契約によることとした理由 | 別紙のとおり |
| 業 種 区 分 | 建設コンサルタント等 |
| 履 行 期 間 (自) | 令和6年10月11日 |
| 履 行 期 間 (至) | 令和7年3月19日 |
| 備 考 | |

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

令和6年度

随意契約理由書

1. 業 務 名 東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務
2. 契約の相手方 東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体
3. 随意契約理由

本業務は、東北地方整備局管内の港湾整備において、効率的で安全な潜水作業の実現方策について検討するものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項に基づき、東北港湾における潜水作業の効率性・安全性等検討業務沿岸技術研究センター・日本海洋コンサルタント設計共同体と随意契約を行うものである。